【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年1月31日(2025.1.31)

【国際公開番号】WO2020/183169
【公表番号】特表2022-525081(P2022-525081A)
【公表日】令和4年5月11日(2022.5.11)
【年通号数】公開公報(特許)2022-082
【出願番号】特願2021-554582(P2021-554582)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｄ　3/17(2020.01)
Ａ２４Ｄ　1/20(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/42(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/40(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/20(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｄ　3/17
Ａ２４Ｄ　1/20
Ａ２４Ｆ 40/42
Ａ２４Ｆ 40/40
Ａ２４Ｆ 40/20

【誤訳訂正書】
【提出日】令和7年1月20日(2025.1.20)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００３】
本発明の実施形態によれば、第１の態様において、不燃式エアロゾル供給システムで使用するための物品が提供され、この物品は、エアロゾル生成材料と、エアロゾル生成材料の下流のマウスピースとを備え、マウスピースは、長手方向軸線を有する円柱の形態の材料本体と、材料本体内に埋め込まれたカプセルとを備え、それによりカプセルは、本体を形成する材料によってすべての側で取り囲まれており、カプセルは、液体エアロゾル変性剤を包むシェルを有し、長手方向軸線に直交して測定されるカプセルの最大断面積は、長手方向軸線に直交して測定される材料本体の断面積の２８％未満である。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４５】
材料本体６内には、エアロゾル変性剤が、この例ではカプセル１１の形態で提供され、耐油性の第１のプラグラップ７が、材料本体６を取り囲む。加えて、他の例では、材料本体６に注入された材料、又は糸に提供された材料など、エアロゾル変性剤を他の形態で提供することができ、たとえば糸は、香味料又は他のエアロゾル変性剤を保持することができ、エアロゾル変性剤もまた、材料本体６内に配置することができる。材料本体６は、長手方向軸線を有する円柱の形態であり、カプセル１１は、材料本体６内に埋め込まれ、したがってカプセル１１は、本体６を形成する材料によってすべての側で取り囲まれる。カ

プセル１１は、液体エアロゾル変性剤を包むシェルを有する。長手方向軸線に直交して測定されるカプセルの最大断面積は、長手方向軸線に直交して測定される材料本体６の断面積の２８％未満である。カプセルの最大断面積が、マウスピース２のうちカプセル１１が提供された部分の断面積の２８％未満であることには、より大きい断面積を有するカプセルと比較すると、マウスピース２における圧力降下が低減され、カプセルの周りにエアロゾルが通過するのに十分な空間が残り、材料本体６は、エアロゾルがマウスピース２を通過するとき、多量のエアロゾル質量を除去しないという利点がある。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
不燃式エアロゾル供給システムで使用するための物品であって、
エアロゾル生成材料と、
前記エアロゾル生成材料の下流のマウスピースとを備え、前記マウスピースは、長手方向軸線を有する中実な円柱の形態の材料本体と、前記材料本体内に埋め込まれたカプセルとを備え、それにより前記カプセルが、前記本体を形成する材料によってすべての側で取り囲まれており、前記カプセルが、液体エアロゾル変性剤を包むシェルを有し、前記長手方向軸線に直交して測定される前記カプセルの最大断面積が、前記長手方向軸線に直交して測定される前記材料本体の断面積の２８％未満であり、
前記カプセルが破壊されたとき、喫煙品の開放圧力降下が、約８ｍｍH_2O未満、約６ｍｍH_2O未満、又は約５ｍｍH_2O未満だけ変化する、物品。
【請求項２】
前記材料本体が、フィラメントトウから形成されている、請求項１に記載の物品。
【請求項３】
前記材料本体が、５～１２のフィラメント当たりデニール及び８，０００～３０，０００の総デニールを有するフィラメントトウから形成されている、請求項２に記載の物品。
【請求項４】
前記材料本体が、６～１０のフィラメント当たりデニール及び１０，０００～２５，０００の総デニールを有するフィラメントトウから形成されている、請求項３に記載の物品。
【請求項５】
前記材料本体が、７～１０のフィラメント当たりデニール及び１１，０００～２２，０００の総デニールを有するフィラメントトウから形成されている、請求項４に記載の物品。
【請求項６】
前記フィラメントトウが酢酸セルロースのトウを含む、請求項２～５のいずれか一項に記載の物品。
【請求項７】
前記フィラメントトウに対してトウ性能曲線が生成され、前記トウ性能曲線が、所与のロッド長さに対して実現可能な最小重量と最大重量との間のトウ重量の各々に対して前記フィラメントトウを使用して形成される前記ロッド長さにおける圧力降下であって、ロッドの円周、巻取紙の厚さ及びトウの可塑剤レベルが指定された前記圧力降下を表し、前記トウ性能曲線は、前記トウ重量を表す横軸と前記圧力降下を表す横軸とを有し、前記フィラメントトウが、前記トウ性能曲線の前記最小重量と前記最大重量との間の範囲の約１０％～約３０％の前記材料本体の長さ１ｍｍ当たりの重量を含む、請求項２～６のいずれか一項に記載の物品。
【請求項８】

前記フィラメントトウが、前記フィラメントトウの０．２％～４重量％又は前記フィラメントトウの０．５％～３重量％の量で可塑剤を含む、請求項２～７のいずれか一項に記載の物品。
【請求項９】
前記カプセルが、前記液体エアロゾル変性剤を選択的に解放するように外力によって破壊される、請求項１～８のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１０】
前記マウスピースにおける圧力降下が、約４０ｍｍH_2O未満及び／又は約１５ｍｍH_2O超である、請求項１～９のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１１】
前記マウスピースにおける圧力降下が、約３２ｍｍH_2O未満である、請求項１０に記載の物品。
【請求項１２】
前記マウスピースが、前記マウスピースの下流端にフィラメントトウから形成された中空の管状要素を備える、請求項１～１１のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１３】
前記カプセルが実質的に球形であり、約２．８ｍｍ～約３．２ｍｍの直径を有する、請求項１～１２のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１４】
前記材料本体が、約１９ｍｍ～約２３ｍｍの外周を有する、請求項１～１３のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１５】
前記エアロゾル生成材料が、１００コレスタ単位未満、８０コレスタ単位未満、６０コレスタ単位未満、又は２０コレスタ単位未満の透過性を有する巻取紙内に包まれている、請求項１～１４のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１６】
前記エアロゾル生成材料が、約７００ミリグラム毎立方センチメートル未満の密度を有する再生タバコ材料、又は約６００ミリグラム毎立方センチメートル未満の密度を有する再生タバコ材料を備える、請求項１～１５のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１７】
前記エアロゾル生成材料が、エアロゾル形成材料を含み、
前記エアロゾル形成材料が、エアロゾル生成材料に付加される物質であり、
前記エアロゾル形成材料が、グリセリン、グリセロール、プロピレングリコール、グリセロールとプロピレングリコールの組合せ、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、テトラエチレングリコール、１，３－ブチレングリコール、エリスリトール、メソエリスリトール、バニリン酸エチル、ラウリン酸エチル、スベリン酸ジエチル、クエン酸トリエチル、トリアセチン、ジアセチン混合物、安息香酸ベンジル、フェニル酢酸ベンジル、トリブチリン、酢酸ラウリル、ラウリン酸、ミリスチン酸、及び炭酸プロピレン、並びにそれらの組合せのうちの少なくとも１つを含み、
前記エアロゾル形成材料が、前記エアロゾル生成材料の少なくとも５重量％を含む、請求項１～１６のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１８】
前記エアロゾル生成材料がタバコ成分を含み、前記タバコ成分が、前記タバコ成分の約１０％～約９０重量％の量で葉タバコを含み、前記葉タバコが、前記葉タバコの１．５重量％より大きいニコチン含有量を有する、請求項１～１７のいずれか一項に記載の物品。
【請求項１９】
前記葉タバコが、前記葉タバコの最大約１０重量％の量で、前記エアロゾル形成材料の少なくとも一部分を含み、前記タバコ成分が、前記タバコ成分の約１０％～約３０重量％の量で、前記エアロゾル形成材料を含む、請求項１７を引用する場合の請求項１８に記載の物品。

【請求項２０】
前記マウスピースが、４５０ｍｍ^{3}より大きい内部体積を有する空洞を備える、請求項１～１９のいずれか一項に記載の物品。
【請求項２１】
１９ｍｍ～約２３ｍｍの外周を含む、請求項１～２０のいずれか一項に記載の物品。
【請求項２２】
請求項１～２１のいずれか一項に記載の物品と、前記物品の前記エアロゾル生成材料を加熱するための不燃式エアロゾル供給デバイスとを備えるシステム。
【請求項２３】
前記不燃式エアロゾル供給デバイスが、コイルを備える、請求項２２に記載のシステム。
【請求項２４】
前記不燃式エアロゾル供給デバイスが、前記物品のエアロゾル生成基質を少なくとも２００℃の最大温度まで加熱するように構成されている、請求項２２又は２３に記載のシステム。
【請求項２５】
前記不燃式エアロゾル供給デバイスが、前記物品の前記エアロゾル生成基質を少なくとも約１６０℃、又は少なくとも約２００℃、又は少なくとも約２２０℃、又は少なくとも約２４０℃、又は少なくとも約２７０℃の温度まで加熱するように構成されている、請求項２４に記載のシステム。
【請求項２６】
前記マウスピースが、前記マウスピースの下流端にフィラメントトウから形成された中空の管状要素を備え、フィラメントトウから形成された前記中空の管状要素が、外側巻取紙内に巻き込まれており、前記外側巻取紙の外面が、使用中に４２℃未満、又は使用中に４０℃未満、又は使用中に３８℃未満の最大温度に到達する、請求項２２～２５のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項２７】
前記マウスピースのうち前記カプセルが配置された部分が、前記システムの使用中に摂氏５８～７０度の温度に到達してエアロゾルを生成する、請求項２２～２６のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項２８】
前記カプセルが、多糖、セルロースのゲル化剤、ゼラチン、ガム、ゲル、及びワックスから選択された少なくとも１つのゲル化剤を含み、
前記カプセルが、前記マウスピースに印加される外力によって破壊可能であり、前記マウスピースのうち前記カプセルが配置された前記部分が、前記システムの使用中に摂氏５８度より大きい温度に到達してエアロゾルを生成し、前記エアロゾル生成材料の加熱前の前記マウスピース内に配置された時の前記カプセルの破裂強度が、１５００～４０００重量グラムであり、エアロゾルの生成のための前記システムの使用から３０秒以内の前記マウスピース内に配置された時の前記カプセルの破裂強度が、１０００～４０００重量グラムである、請求項２２～２７のいずれか一項に記載のシステム。